

12 社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団

令和2年7月1日現在

設立年月日	昭和63年10月1日	代表者氏名	理事長 松井 宣夫		
所在地	名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2		電話番号	052-835-3811	
ホームページアドレス	http://www.nagoya-rehab.or.jp/				
資本金・基本金	30,000千円	市出資・出捐金	30,000千円 (100.0%)		
所管部局	健康福祉局障害福祉部障害企画課		電話番号	052-972-2587	
設立目的	障害のある人も社会の一員として、その能力を活用し、適性に応じた社会生活を送ることができるよう、相談から医療、訓練を経て、社会復帰に至るまでの一貫したリハビリテーションサービスを提供するとともに、リハビリテーションに関する調査・研究、関係者に対する研修・教育、一般市民に対する広報・啓発を推進することにより、名古屋圏におけるリハビリテーションネットワークの中心的役割を果たすことを目的とする。				
主な事業	事業名	令和元年度 事業費	事業の概要		
	病院事業	2,228,385千円	名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院の受託経営		
	障害者支援施設	523,232千円	障害者支援施設名古屋市総合リハビリテーションセンターの受託経営		
	障害者スポーツセンター事業	252,695千円	身体障害者福祉センター名古屋市障害者スポーツセンターの受託経営		
役員数	常勤		非常勤		
	役員数	4人 (うち市派遣)	0人 (うち市OB)	2人	8人
	職員数	230人 (うち市派遣)	4人 (うち市OB)	0人	109人
常勤役員平均報酬 (市派遣職員を除く)	6,968千円	正規職員平均給与 (市派遣職員、臨時職員、嘱託職員等除く)	6,926千円	正規職員平均年齢 (市派遣職員除く)	42.27歳
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
市からの財政支出	委託料	185,817千円	185,616千円	219,214千円	
	内 随意契約金額	(137,028千円)	(136,827千円)	(158,373千円)	
	補助金	34,114千円	38,074千円	26,768千円	
	指定管理料	3,285,670千円	3,324,800千円	3,358,340千円	
	貸付金 (年度末残高)	0億円	0億円	0億円	
損益計算書 (正味財産増減計算書)	経常収益	3,605,194千円	3,608,351千円	3,664,408千円	
	経常費用	3,554,003千円	3,443,484千円	3,602,773千円	
	経常利益(損失)	51,190千円	164,867千円	61,635千円	
	当期利益(損失)	51,596千円	164,867千円	62,685千円	
貸借対照表	総資産	1,622,208千円	1,773,839千円	1,911,828千円	
	内 流動資産	(622,114千円)	(757,726千円)	(770,758千円)	
	内 固定資産等	(1,000,094千円)	(1,016,113千円)	(1,141,071千円)	
	総負債	1,390,045千円	1,377,011千円	1,452,513千円	
	内 流動負債	(426,543千円)	(400,743千円)	(432,861千円)	
	内 固定負債等	(963,503千円)	(976,268千円)	(1,019,652千円)	
	純資産(正味財産)	232,162千円	396,827千円	459,315千円	

経営に関する指標（共通指標）

12 社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団

○法人の自立性	平成30年度	令和元年度	対前年度増減
市からの収入割合 $\left(\frac{\text{市からの委託料・補助金・指定管理料}}{\text{経常収益}} \right)$	98.3%	98.4%	0.1%
市との随意契約比率 $\left(\frac{\text{市との随意契約金額}}{\text{市からの委託料総額}} \right)$	73.7%	72.2%	▲1.5%
	令和元年7月1日現在	令和2年7月1日現在	対前年増減
市職員の役員就任割合 $\left(\frac{\text{市職員の役員数}}{\text{役員総数}} \right)$	0.0%	0.0%	0.0%
固有職員比率 $\left(\frac{\text{常勤固有職員数}}{\text{常勤職員数}} \right)$	98.2%	98.3%	0.1%
○組織運営の効率性			
	平成30年度	令和元年度	対前年度増減
管理費比率 $\left(\frac{\text{管理費}}{\text{経常費用}} \right)$	0.4%	0.4%	0.0%
○財務の健全性			
	平成30年度	令和元年度	対前年度増減
自己資本比率 $\left(\frac{\text{純資産(正味財産)}}{\text{総資産}} \right)$	22.4%	24.0%	1.6%
流動比率 $\left(\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \right)$	189.1%	178.1%	▲11.0%
固定長期適合率 $\left(\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}} \right)$	74.0%	77.2%	3.2%
借入金依存度 $\left(\frac{\text{借入金+社債}}{\text{総資産}} \right)$	0.0%	0.0%	0.0%
剰余金(欠損金) $\left(\frac{\text{純資産(正味財産)} - \text{基本金・資本金}}{\text{総資産}} \right)$	366,827千円	429,315千円	62,488千円

○ 経営戦略計画(H29～R1)の概要

経営戦略方針

1. 利用者の人権と尊厳に配慮し、個別ニーズに対応した総合的で一貫性のある専門的サービスを提供します。
2. 名古屋地域を中心としたリハビリテーション・障害者福祉の中核施設としての役割を果たすとともに、リハビリテーションに関する先駆的・先進的な取組を推進し、その成果を広く社会へ普及還元します。
3. 経費の効果的な執行と収入の確保を図り、安心、安全で、効率的・効果的な経営を行います。
4. 働きがいのある職場作りから、高い専門性を持ち、温かさと豊かさを備えた人材の育成に努めます。

主な経営戦略目標【戦略基軸】	主な成果指標(単位)	R1 目標値	R1 実績値
1. 利用者の意向を尊重し、利用者の可能性を最大限に発揮でき、必要な時に必要なサービスを受けられるよう、ライフステージに応じた支援を行います。【公共サービスの充実】	附属病院(入院)利用者満足度	90%以上	94.3%
	障害者支援施設利用者満足度	90%以上	92.3%
	福祉スポーツセンター利用者満足度	90%以上	98.0%
	障害者スポーツセンター利用者満足度	90%以上	94.7%
	地域活動支援センター利用者満足度	90%以上	96.6%
	なごや福祉用具プラザ利用者満足度	90%以上	99.3%
	西部リハビリテーション事業所利用者満足度	90%以上	99.3%
2. 新たなニーズや、ニーズの変化を機敏に把握し、先駆的、先進的な事業に取組むとともに、関係機関との密接な連携を促進し、相互の機能向上並びに、地域の障害者リハビリテーションや障害者サービスの充実を図り、情報発信、コーディネート等の中核的役割を果たします。【公共サービスの充実】	地域貢献活動・啓発事業など講習会等実施件数(年間)	35回	64件
	講師派遣・講演件数	150件	215件
	基幹相談支援センター地域関連機関とのケア会議等の件数(年間)	140件	156件
	事業団公式ウェブサイト等のインターネット広報による情報発信件数(月間)	10件	11.9件
	学会発表数	40題	50題
3. 研究・開発の促進及び人材育成の観点から、部門間連携による研究・開発、他研究機関等との共同研究などの一層の推進に取り組みます。【公共サービスの充実】【人材力・現場力の強化】	外部機関と共同で行った取り組み件数(年間)	5件	22件
	入院病床利用率	90%	92.2%
4. 経費対効果を常に念頭に置き、制度改正等に即応した収入の確保や、経費の節減に努めます。【効率性の発揮と成果】【財務内容の改善・向上】	通所リハビリテーション利用率	83%	80.7%
	自立支援入所利用率	85%	78.3%
	自立支援日中活動利用率	90%以上	92.4%
	入院患者1人当たりの疾患別リハビリテーション単位数(1日当たり)	4.5	4.53
	福祉スポーツセンター利用者数(1日当たり)	150人	156.2人
	障害者スポーツセンター利用者数(1日当たり)	410人	441.4人
5. 利用者にとって安心・安全で、快適な環境を提供するため、リスクマネジメント等の確立に取組み適正な法人運営、施設運営を行います。【効率性の発揮と成果】【財務内容の改善・向上】	設備面に関する利用者満足度	90%以上	90.1%
	6. 総合的な人材育成計画に基づいて、高い専門性とモチベーションを有する人間力豊かな人材を育成します。【人材力・現場力の強化】	自己啓発支援制度を利用した研修参加数(年間)	80件
職員が企画運営する内部研修数(年間)		70件	72件